

都市再生整備計画 フォローアップ報告書  
古川地区

平成25年3月

宮城県大崎市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	地区内居住者数	人	6,560	7,500	8,168	確定 見込み ●	○	あり なし	○	8,636	H24年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	安全で安心なまちづくりと幹線道路の整備に伴い公共施設や商業施設が立地し、良好な住空間と利便性を兼ね備えた魅力ある地区となり居住者数が増加した。
指標2	中心市街地へのアクセス時間	分	12	7	7	確定 見込み ●	○	あり なし	○	7	H24年9月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	道路の早期暫定供用開始により早い段階から市民の中心市街地へのアクセスの向上が図られた。
指標3	地域活動参加者数	人/回	80	150	164	確定 見込み ●	○	あり なし			H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	若い世代が花いっぱい運動へ参加することにより地域への愛着や地域住民の交流が生まれ地域活動への参加者数が増加した。
指標4						確定 見込み		あり なし			H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし			H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み					H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み					H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み					H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

## 2. 今後のまちづくり方策の検証

### 様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項	
・成果を持続させるために 行う方策	居住地としての良好な生活環境の維持向上を図っていく	・居住地の良好な環境を維持するため、地区計画などのまちづくりのルールを徹底した。	・地区計画を策定している古川南地区では人口が増加しているが、その他の区域では人口の減少がみられる区域がある。	・古川南地区では地区計画を徹底するとともに、地区計画の区域外についても、良好な住環境の維持向上を目指したまちづくりを促進する。
	道路交通環境の維持	・道路の適切な維持管理を行った。	・交通渋滞が減少し、スムーズな通行が行われるようになった。	・道路の適切な維持管理による交通環境の維持と、新たな道路整備や公共交通整備を推進する。
	地区内住民の地域活動	・住民が主体となったイベント 花いっぱい運動、防犯パトロール等の取組みを継続して支援した。	・地区の子どもと大人、高齢者などの多世代の交流、新旧住民の交流が進んだ。	・市民活動支援事業により、地域におけるコミュニティ活動の活性化を促進する。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	安全な居住地の形成と整備されたインフラの活用	・下水道への接続率向上を図るためのPR活動を実施した。	・新大江川の未整備区間の早期事業着手が求められている。 ・公共下水道の接続率向上が必要である。 ・連続的な区画道路網の形成が必要である。	・新大江川未整備区間の早期事業着手に向け県との調整を図る。 ・下水道への接続率向上による環境負荷軽減を図る。 ・連続的な区画道路網の形成を図る。
	地域社会活動の促進	・地域社会活動支援事業などにより、住民が主体となったイベント 花いっぱい運動、防犯パトロール等の取組みを継続して支援した。	・東日本大震災の発生により、地域防災組織をはじめとする、市民、地域、行政が連携した防災体制の整備が求められている。	・花いっぱい運動など、社会教育や交流の機会を創出するとともに、防犯パトロールや地域防災組織など、安全・安心な暮らしにつながる地域社会活動の支援を行う。
	公共交通環境の向上	・公共公益施設の整備とあわせて、公共交通の再編を検討している。	・人口の集中や公共公益施設の集約により今後更なる交通量増加が懸念されるなか、公共交通の整備が求められている。	・公共交通の整備による自動車交通量の公共交通への転換とともに、誰もが安心安全に利用可能な公共交通の整備を推進する。
	交通の分散と区画道路網の構築	・公共公益施設の整備とあわせて、利用者のアクセス方法や地域への影響を検討している。	・公共公益施設の集積に伴う交通量増加が懸念される。	・公共公益施設の集積に伴う交通量増対策として幹線道路の整備を図る。 ・連続的な区画道路網を形成し居住環境の向上を図る。

### 様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的な内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
特になし			